

温暖化が進む近年でのハチ駆除の労働安全対策

協栄産業 株式会社 鈴木 良 康

近年、私たちが暮らしていく上で、温暖化の問題や様々なウイルスとの問題においてPCO業界も日々工夫を考え作業を遂行し、翌年に備えて準備を考えていることかと思われま。この機会を通して、サプライヤーと言う立場で皆様の生活を脅かす問題に少しでも役立つ商材をこの機会に知って頂き、いざと言う際に活用して頂くことができればと思い今回の執筆を記載させて頂きました。

※下記は神奈川県PCO協会での電話件数参考

電話相談件数の推移

()内は構成比で%

種類	3年	2年	1年	30年
ハチ	3,719 (47.6)	3,426 (43.8)	4,045 (55.1)	4,581 (60.5)

まず近年、都市部でもさまざまな種類のハチの相談が保健所様やPCO業界に、毎年相談件数が増加傾向にあります。その際、先にも述べた通り、温暖化が進む中での駆除作業は気温が40度近く行く上で、防護服を着用しての作業となり、PCO業者様も日々苦勞との闘いかと思われま。

最近では防護服に空調ファンが装着されている防護服が市場にも出回っておりますが、2022年終盤に株式会社ディックコーポレーション様が防護服の改良を隔て、空調ファンを熱中症対策として活用できる風量まで改良を加え、市場に出てきております。2021年度品まで4段階の風量調節において5V(表示1)~8.4V(表示4)(←表示とはバッテリーに表記された数字の事。)に切り替えが可能に対し、2022年終盤より市場に出回っている物は4段階の風量調節において8.4V~15Vの調整切り替えが可能となり、従来品に比べると最大値で比較すると約2倍近くの風量が上部全体に行き渡る為、熱中症対策にも対応できる(※但し、その時の体調具合もある為、熱中症になり得る可能性は必ずしもではございません。)風量が得られるようになりました。その為、温暖化問題に類似して、近年では労働安全での問題視も懸念される関係で、防護服を着用する上で刺されないだけでなく、温暖化に伴い熱中症警戒アラートにもハチ駆除を行う上で視点を向ける必要が出てきております。

4段階の風量での使用状況にもよりますが、現行品ではフル充電を完了した状態で最大風量15Vにて使用すると約3時間の連続使用が可能となり、最小の8.4Vで使用すると約15時間の連続使用が可能となりました。(※但し、使用頻度が多いとバッテリーの寿命が軽減される為、使用時間は初期より落ちてしまいます。)



また、防護服を着用していても「絶対に刺されない」訳ではない中、元よりこの防護服は3重構造の特殊生地を採用しておりますが、中に着用出来る保冷メッシュライナー(長袖)を着用する事で厚みを持たしハチの針を通しにくく活用出来、ライナー自体は洗濯も可能の為、衛生的にも活用しやすいライナーとなっております。また、空調が強くなった事で発汗の量も軽減され防臭対策にも適しております。

さらに、改良点として前方部にファスナーが付いた事で、一人で脱着しやすくなった事と兼ねてから要望されておりました頭部が従来品は幅39cmに対し、32cmにコンパクト(18%カット)になり、閉塞空間(屋根裏や床下)に入りやすく改良されました。

次に、今年度よりファンが付いていない防護服(ラプターファン無し)の熱中症の対応として後付けでファンを取り付ける事が出来ない為、防護服の中に着る事が出来る水冷ベストを推奨致します。このベストはタンクに冷水を注ぎ、専用バッテリーで循環する事で冷却し、上半身を冷たく包み込んで暑い時期のハチ駆除や空調が効かない現場もしくは空調を使用できない現場での作業にも活用する事が出来ます。



USBバッテリーを充電する事で、冷却を感じ得る時間の目安として2~3時間が目安となり、冷却効果は弱くはなりますが最大で6時間連続使用が可能となります。逆にデメリットとしては言えば、空調ファンとは違い、冷水を循環させる構造の為に裏生地に結露が生じる事で背中が濡れてしまう事を嫌う方は気になってしまう事が想定されます。しかしながら、夏場の作業は何もしなくても発汗で下着は濡れてしまう為、想定すると夏場の高温での熱中症対策商材としては良いアイテムかと思われます。尚、ファン付の空調ファンですとゴミを吸い取ってしまう関係で、この水冷ベストは林業業務には適しているのではと思います。

最後に、今回の私の記載が少しでも皆様の安全労働に繋がり、温暖化での業務のお役に立てて頂けたら幸いです。